

B工区地質記載シート

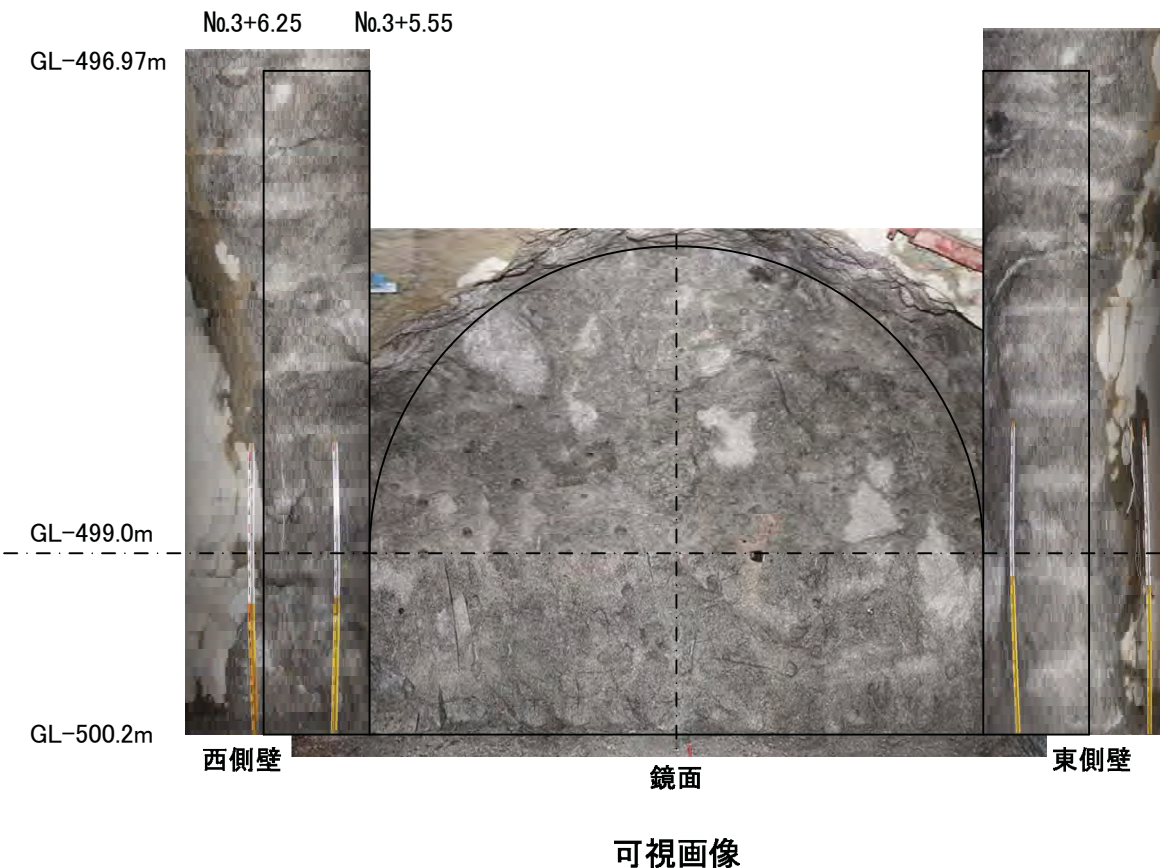
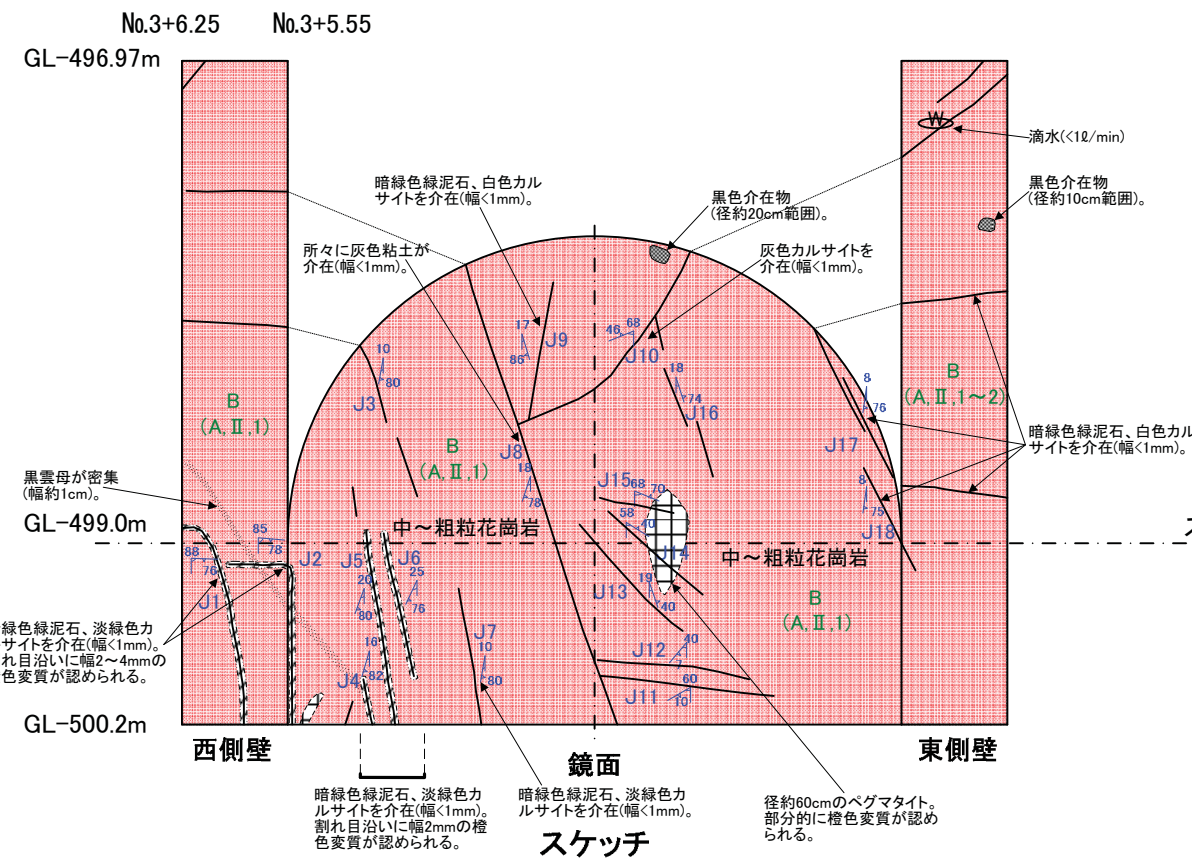
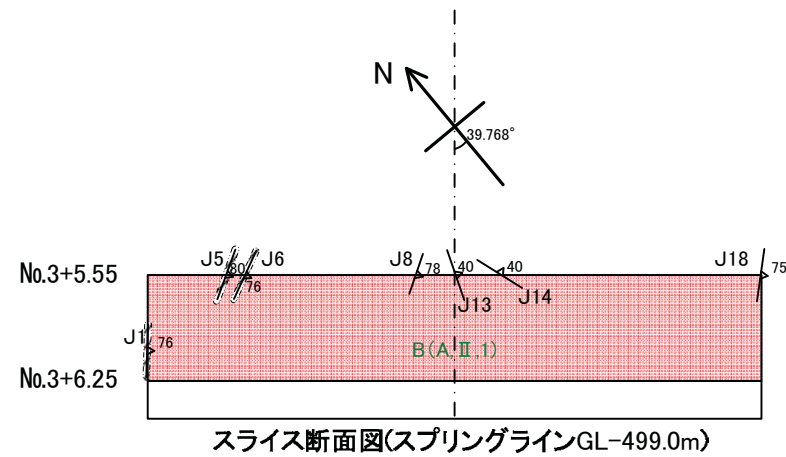
番号:B4-請負-計測工(地質)- 00017

| | | | | | | | |
|-------|-----|----|------------------------|-------|--|--------|--|
| シート番号 | 249 | 日時 | 2011/4/22 8:05~9:40 | 位置・深度 | 500Y_ST1 G.L.-496.97~-500.20m No.3+6.25~No.3+5.55m | 観察・撮影者 | |
|-------|-----|----|------------------------|-------|--|--------|--|

- 凡例
- 花崗岩
 - 変質部
 - 割れ目
 - 黒雲母密集部
 - 変質部
 - 割れ目の傾斜・計測角
 - 湧水
 - ベグマタイト脈

| | | |
|-------|-------|-----|
| 総括監督員 | 主任監督員 | 監督員 |
|-------|-------|-----|

請負人 清水・鹿島・前田特定建設工事共同企業体
現場代理人



| | | | | | | | |
|----|--------------|-------|-----------------------------|--------|--------------------|------|---|
| 岩種 | 花崗岩 | 風化 | α(新鮮) | RMR値 | -496.97~-500.2m 76 | 特記事項 | <ul style="list-style-type: none"> 中～粗粒花崗岩(灰白色)：等粒状の黒雲母花崗岩。鉱物の粒径は石英が5mm前後でしばしば複数個が1cm程の集合体をなす。長石類は3~20mmである。黒雲母は1~10mmである。有色鉱物の割合は7~10%程度である。西側壁から鏡面左下にかけて帯状の黒雲母密集部(幅約1cm)、鏡面の中央付近にベグマタイト脈(不規則な形態：最大幅60cm程度)が認められる。 ハンマーでの打撃音は金属音~少し濁った音であり、岩盤は堅硬である。変質は鏡面左下および西側壁の下部の割れ目周辺で認められる(J1, J2, J4~J6)が、壁面全体では岩石は概ね新鮮である。全体的に割れ目が少なく、岩盤等級はB級である。 主な割れ目として18条を抽出した。高角度割れ目は、NE方向の走向を示すものが多く、暗緑色緑泥石および淡緑~白色カルサイトを介在する。鏡面左上から鏡面中央下部にかけて灰色粘土を介在する高角度割れ目(J8)が認められる。 湧水は、J10の天端付近に滴水が認められる。その他の壁面でも滲出程度の湧水が存在する可能性はある。 当箇所は予備ステージ横坑であり、進行する方向はおおよそN40°Eである。 壁面観察は鏡面から0.7m離れた場所より目視観察で実施した。 |
| | | 変質 | 1(非変質) (一部2(弱変質)を含む) | | | | |
| 岩相 | 中～粗粒花崗岩(灰白色) | 湧水 | 滲出、滴水 | 採水試料番号 | なし | | |
| | | 電研式岩級 | -496.97~-500.2m B(A,II,1~2) | | | | |

B工区地質記載シート

番号:B4-請負-計測工(地質)- 00018

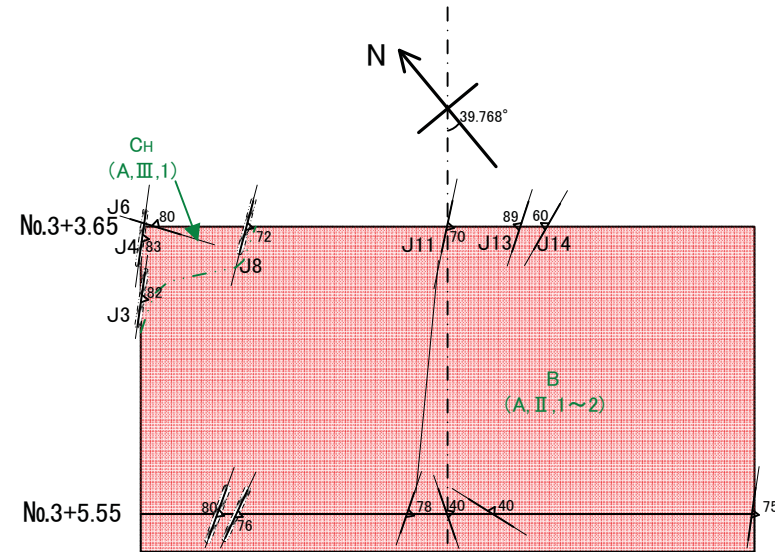
| | | | | | | | |
|-------|-----|----|-------------------------|-------|--|--------|--|
| シート番号 | 250 | 日時 | 2011/4/23 8:45~10:30 | 位置・深度 | 500Y_ST2 G.L.-496.97~-500.20m No.3+5.55~No.3+3.65m | 観察・撮影者 | |
|-------|-----|----|-------------------------|-------|--|--------|--|

凡例

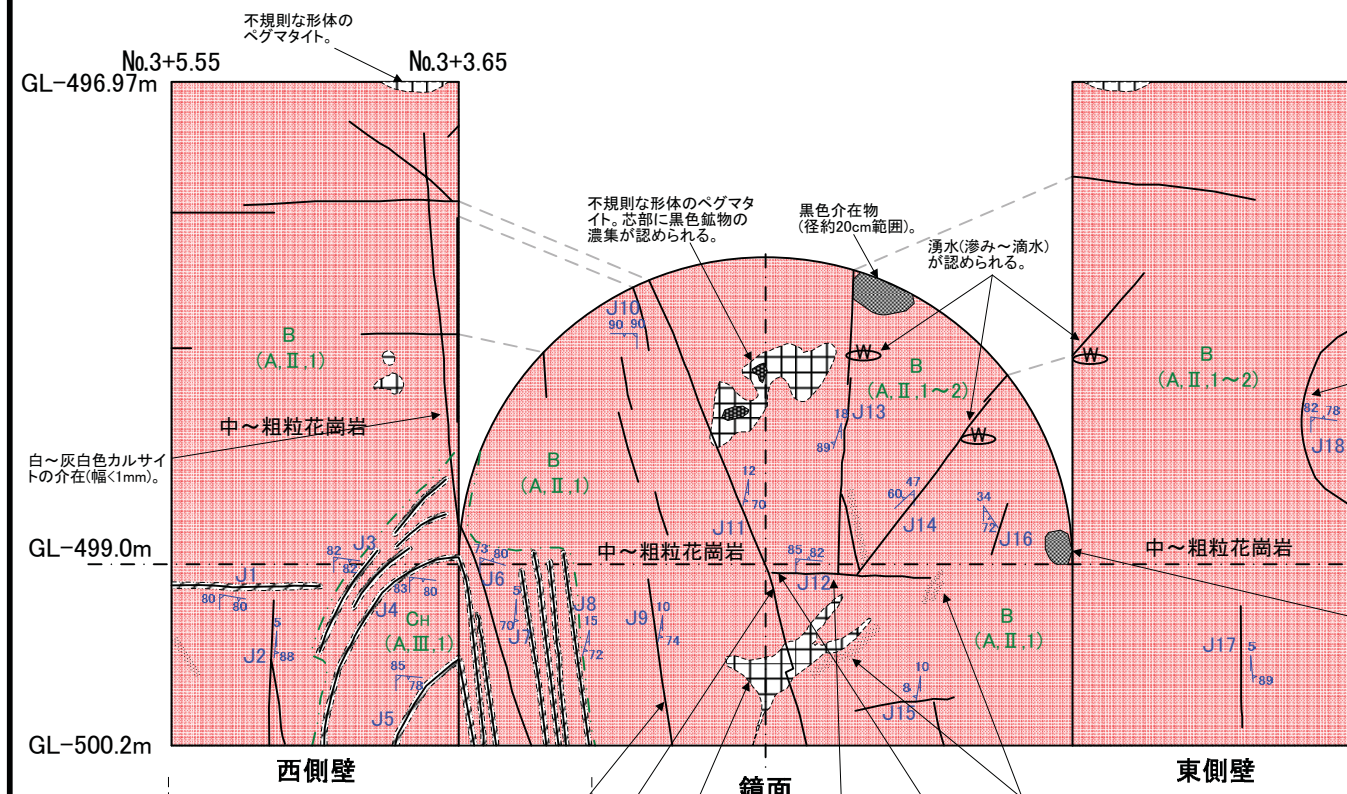
| | | |
|----------|--------------|----------|
| : 花崗岩 | : 変質部 | : 岩級区分境界 |
| : 割れ目 | : 割れ目の傾斜・計測角 | : 湧水 |
| : 黒雲母密集部 | : ベグマタイト脈 | : 黒色介在物 |

| | | |
|-------|-------|-----|
| 総括監督員 | 主任監督員 | 監督員 |
| | | |

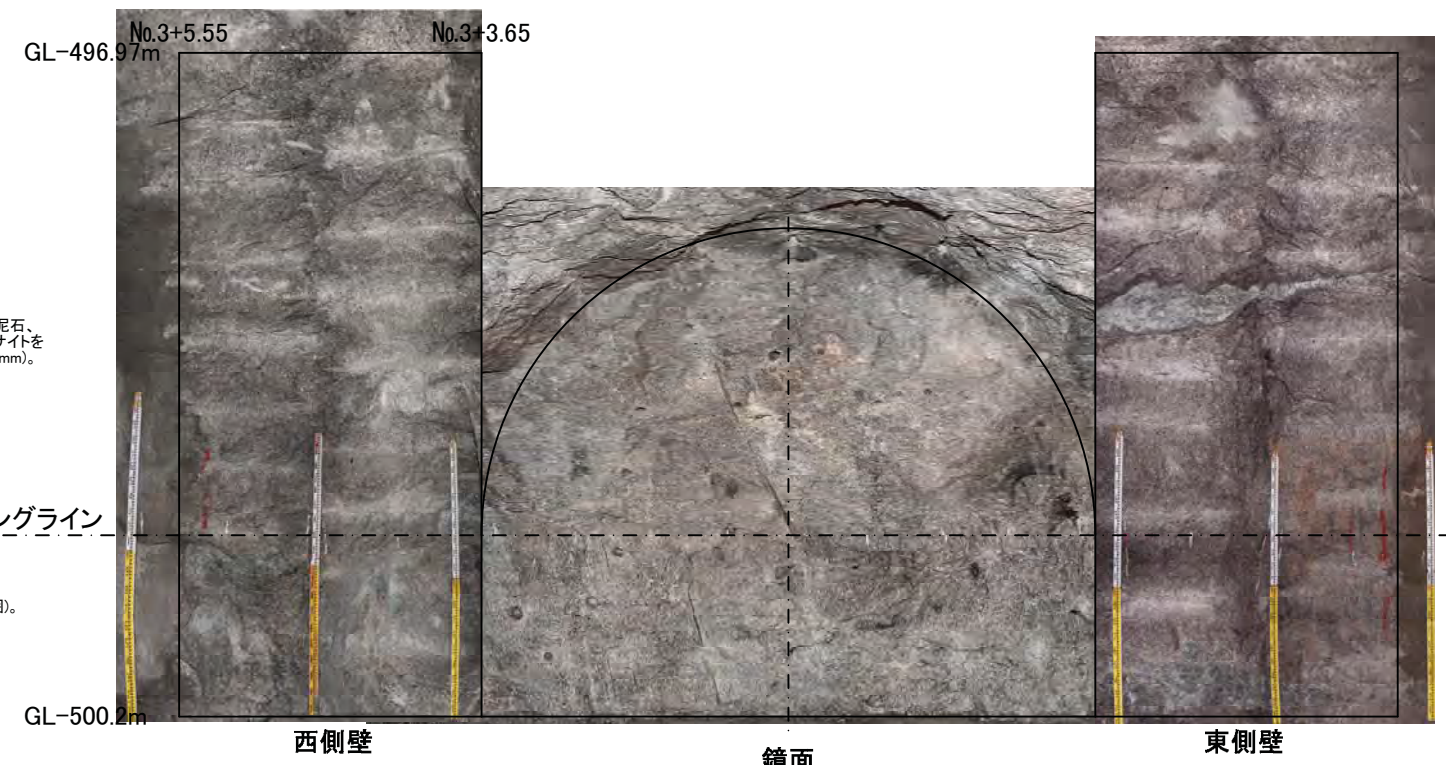
請負人 清水・鹿島・前田特定建設工事共同企業体
現場代理人



スライス断面図(スプリングラインGL-499.0m)



スケッチ



可視画像

| | | | | | |
|----|--------------|-------|---|--------|--------------------|
| 岩種 | 花崗岩 | 風化 | α (新鮮) | RMR値 | -496.97~-500.2m 74 |
| | | 変質 | 1(非変質) (一部2(弱変質)を含む) | | |
| 岩相 | 中~粗粒花崗岩(灰白色) | 湧水 | 滲出、滴水 | 岩石試料番号 | なし |
| | | 電研式岩級 | -496.97~-500.2m B (A.II.1~2) -498.4~-500.2m CH (A.III.1) | 採水試料番号 | なし |

特記事項

- 中~粗粒花崗岩(灰白色)：等粒状の黒雲母花崗岩。鉱物の粒径は石英が5mm前後でしばしば複数個が1cm程の集合体をなす。長石類は3~20mmである。黒雲母は1~10mmである。有色鉱物の割合は7~10%程度である。鏡面のやや右に帯状の黒雲母密集部(幅約1~10cm)、鏡面の中央付近にベグマタイト脈(不規則な形態：最大幅30cm程度)が認められる。
- ハンマーでの打撃音は金属音~少し濁った音であり、岩盤は堅硬である。変質は鏡面左下および西側壁の下部の割れ目周辺で認められるが、壁面全体では岩石は概ね新鮮である。鏡面左下および西側壁は高角度の橙色変質(弱変質)した割れ目が多く、CH級である。全体的には割れ目が少なく、岩盤等級はB級である。
- 主な割れ目として18条を抽出した。高角度割れ目は、NE方向の走向を示すものが多く、暗緑色緑泥石および淡緑~白色カルサイトを介在する。また、鏡面左上から鏡面中央下部にかけて灰色粘土を介在する高角度割れ目(J11)が認められる。
- 湧水は、鏡面に対して右側上部の割れ目(J13, J14)からしみまたは滴水が認められる。その他の壁面でも滲出程度の湧水が存在する可能性はある。
- 当箇所は予備ステージ横坑であり、進行する方向はおおよそN40°Eである。
- 壁面観察は鏡面から1.9m離れた場所より目視観察で実施した。

B工区地質記載シート

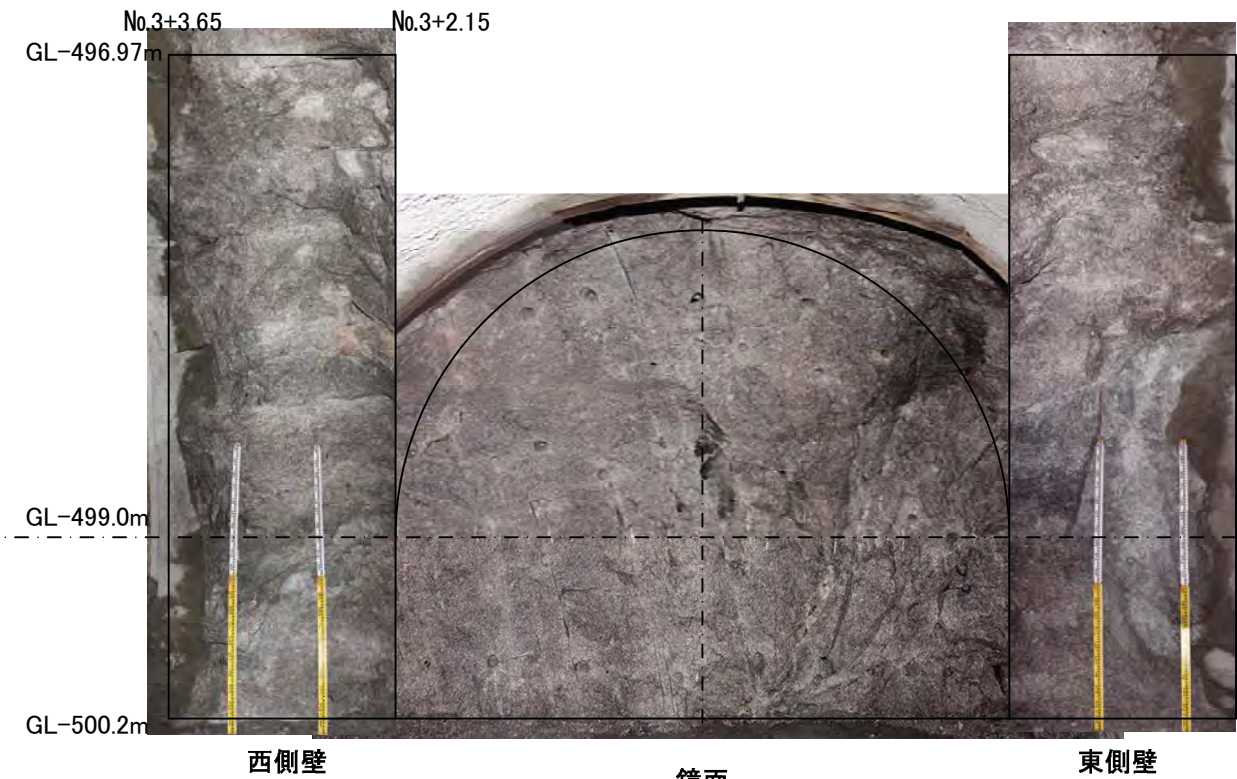
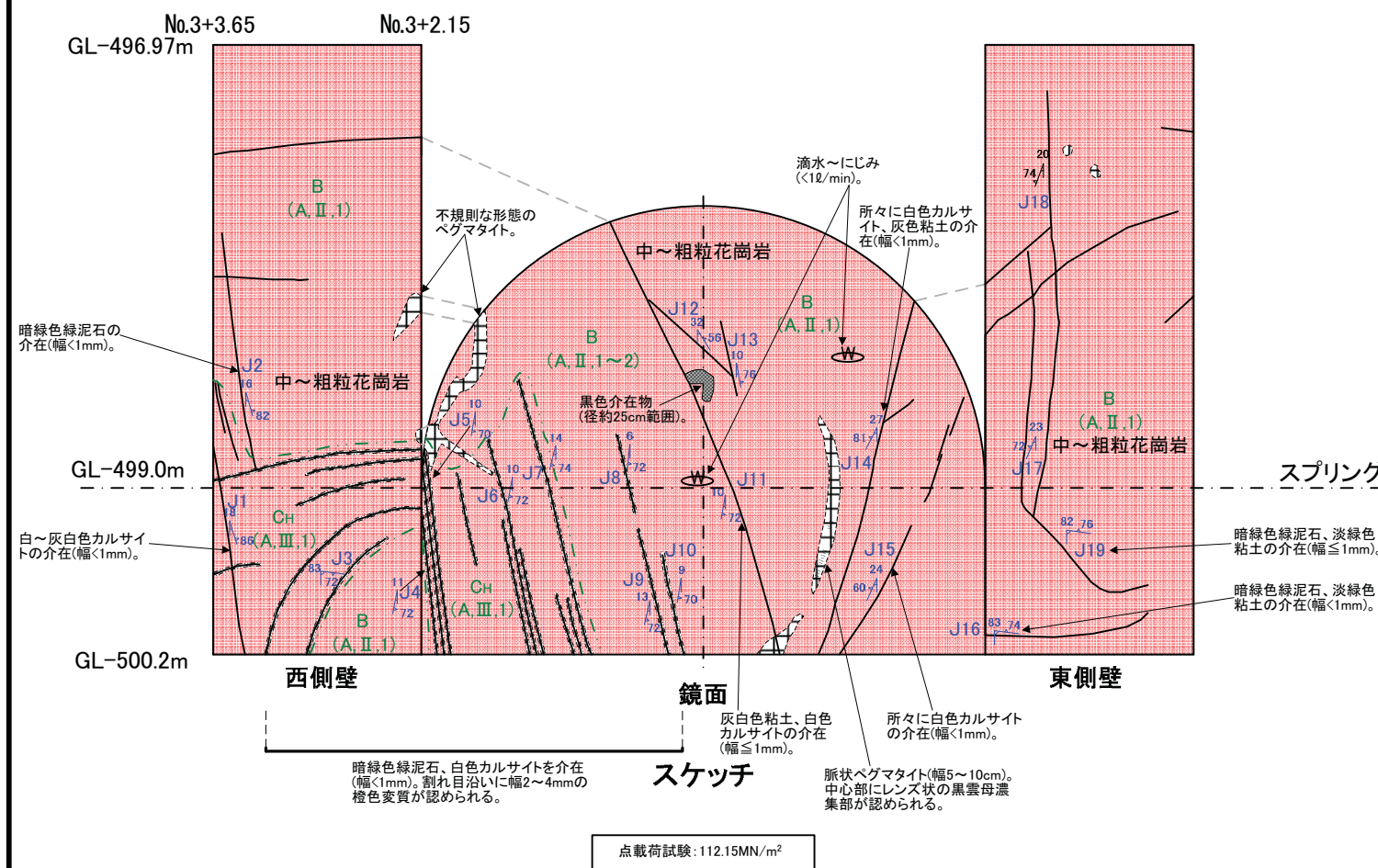
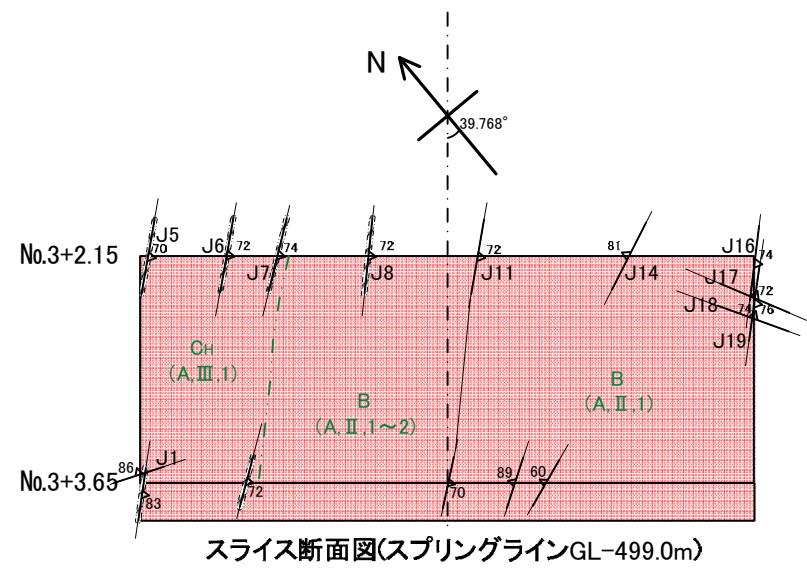
番号:B4-請負-計測工(地質)- 00019

| | | | | | | | |
|-------|-----|----|------------------------|-------|--|--------|--|
| シート番号 | 251 | 日時 | 2011/4/26 7:50~9:30 | 位置・深度 | 500Y_ST3 G.L.-496.97~-500.20m No.3+3.65~No.3+2.15m | 観察・撮影者 | |
|-------|-----|----|------------------------|-------|--|--------|--|

- 凡例
- 花崗岩
 - 変質部
 - 岩級区分境界
 - 割れ目
 - 割れ目の傾斜・計測角
 - 湧水
 - 黒雲母密集部
 - ペグマタイト脈
 - 黒色介在物

| | | |
|-------|-------|-----|
| 総括監督員 | 主任監督員 | 監督員 |
|-------|-------|-----|

請負人 清水・鹿島・前田特定建設工事共同企業体
現場代理人



| | | | | | |
|----|--------------|-------|--|--------|--------------------|
| 岩種 | 花崗岩 | 風化 | α(新鮮) | RMR値 | -496.97~-500.2m 73 |
| 岩相 | 中～粗粒花崗岩(灰白色) | 変質 | 1(非変質) (一部2(弱変質)を含む) | 岩石試料番号 | なし |
| | | 湧水 | 滲出、滴水 | 採水試料番号 | なし |
| | | 電研式岩級 | -496.97~-500.2m B (A, II, 1~2) -498.16~-500.2m CH (A, III, 1) | | |

特記事項

- 中～粗粒花崗岩(灰白色): 等粒状の黒雲母花崗岩。鉱物の粒径は石英が5mm前後でしばしば複数個が1cm程の集合体をなす。長石類は3~20mmである。黒雲母は1~10mmである。有色鉱物の割合は7~10%程度である。鏡面左に不規則な形態のペグマタイト、鏡面右に脈状ペグマタイト(幅約5~15cm)が認められる。
- ハンマーでの打撃音は金属音~少し濁った音であり、岩盤は堅硬である。変質は鏡面左下および西側壁の下部の割れ目周辺で認められるが、壁面全体では岩石は概ね新鮮で全体的には割れ目が少なく、岩盤等級はB級である。変質した割れ目が多い鏡面左下および西側壁はCH級である。
- 主な割れ目として19条を抽出した。高角度割れ目は、NE方向の走向を示すものが多く、暗緑色緑泥石および淡緑~白色カルサイトが介在する。鏡面左下および西側壁下部の高角度割れ目(J3~J10)周辺は橙色に弱変質している。また、鏡面左上から鏡面中央下部にかけて灰白色粘土を介在する高角度割れ目(J11)が認められる。
- 湧水は、鏡面に対して中央のスプリングライン付近、鏡面に対して右側上部からそれぞれ滲みまたは滴水が認められる。その他の壁面でも滲出程度の湧水が存在する可能性はある。
- 当箇所は予備ステージ横坑であり、進行する方向はおおよそN40°Eである。
- 壁面観察は鏡面から1.5m離れた場所より目視観察で実施した。

B工区地質記載シート

番号:B4-請負-計測工(地質)- 00020

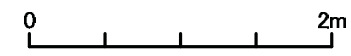
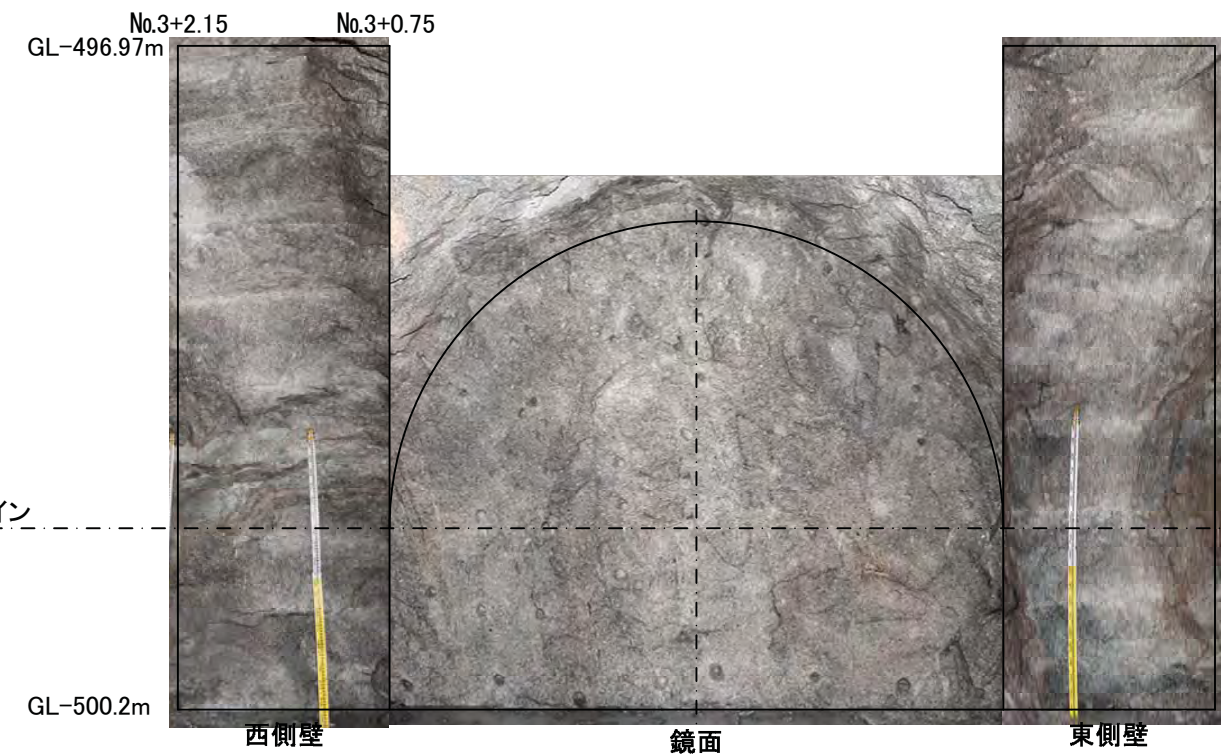
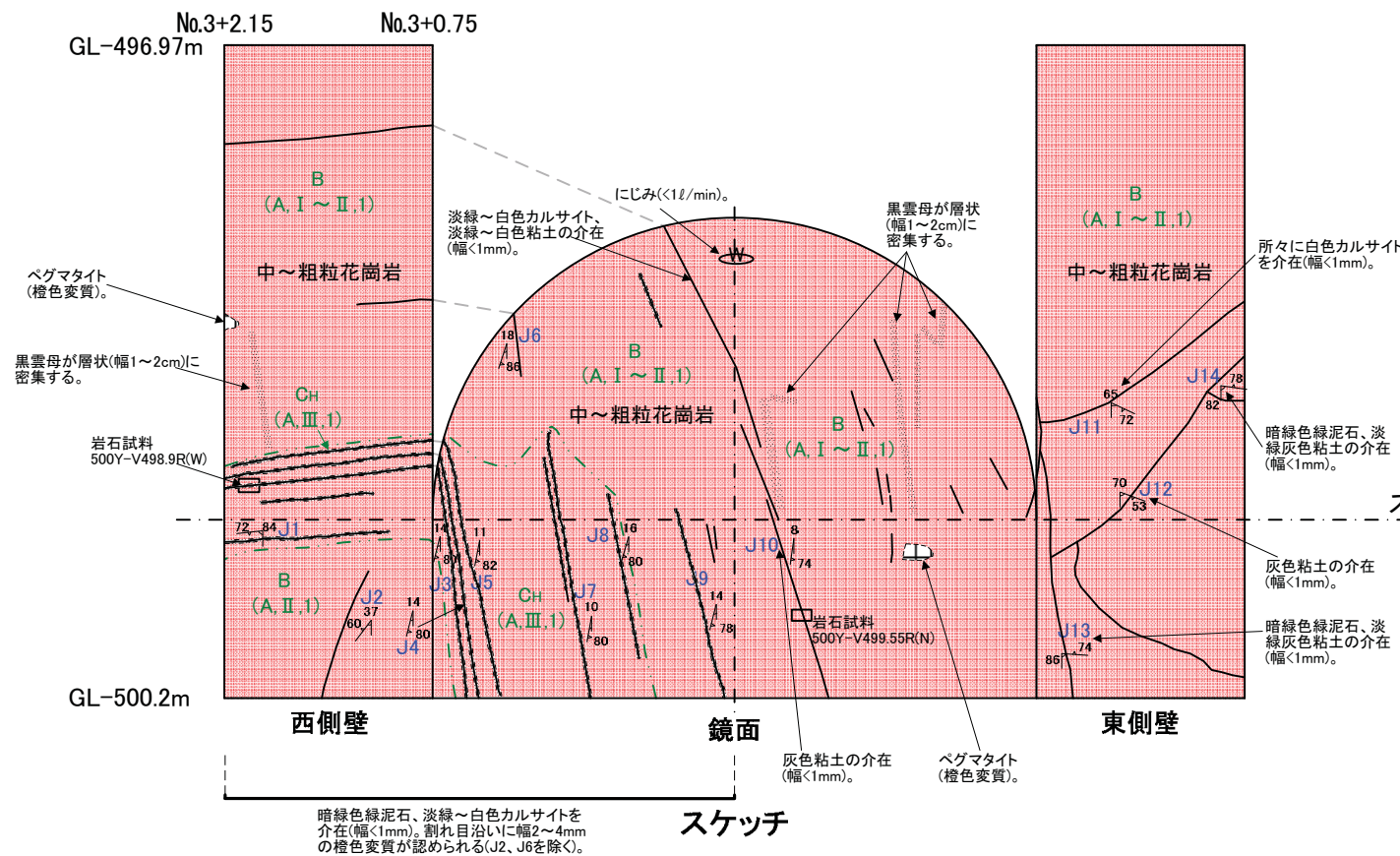
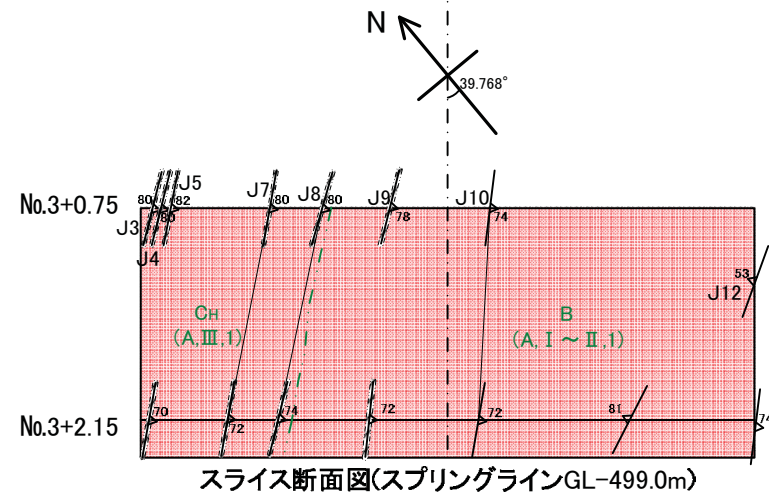
| | | | | | | | |
|-------|-----|----|--------------------------|-------|--|--------|--|
| シート番号 | 252 | 日時 | 2011/5/10 15:50~17:00 | 位置・深度 | 500Y_ST4 G.L.-496.97~-500.20m No.3+2.15~No.3+0.75m | 観察・撮影者 | |
|-------|-----|----|--------------------------|-------|--|--------|--|

凡例

| | | |
|----------|--------------|----------|
| : 花崗岩 | : 変質部 | : 岩級区分境界 |
| : 割れ目 | : 割れ目の傾斜・計測角 | : 湧水 |
| : 黒雲母密集部 | : ベグマタイト脈 | |

| | | |
|-------|-------|-----|
| 総括監督員 | 主任監督員 | 監督員 |
| | | |

請負人 清水・鹿島・前田特定建設工事共同企業体
現場代理人



| | | | | | | | |
|----|--------------|-------|---|--------|--------------------|------|--|
| 岩種 | 花崗岩 | 風化 | α(新鮮) | RMR値 | -496.97~-500.2m 75 | 特記事項 | <ul style="list-style-type: none"> 中～粗粒花崗岩(灰白色)：等粒状の黒雲母花崗岩。鉱物の粒径は石英が5mm前後でしばしば複数個が1cm程の集合体をなす。長石類は3~20mmである。黒雲母は1~10mmである。有色鉱物の割合は7~10%程度である。鏡面右下および西側壁に橙色変質したベグマタイトがレンズ状(約10~20cm)に認められる。 ハンマーでの打撃音は金属音~少し濁った音であり、岩盤は硬である。変質は鏡面左下および西側壁の下部の割れ目周辺で認められるが、壁面全体では岩石は概ね新鮮で全体的には割れ目が少なく、岩盤等級はB級である。変質した割れ目が多い鏡面左下および西側壁はCH級である。 主な割れ目として14条を抽出した。高角度割れ目は、NE方向の走向を示すものが多く、暗緑色緑泥石および淡緑~白色カルサイトを介在する。鏡面左下および西側壁下部の高角度割れ目(J1, J3~J5, J7~J9)周辺は橙色に弱変質している。また、鏡面左上から鏡面中央下部にかけて淡緑~灰~白色粘土を介在する高角度割れ目(J10)が認められる。東側壁には、暗緑色緑泥石と淡緑灰色粘土を介在する高角度割れ目(J13, J14)が面的に露出する。 湧水は、鏡面に対して中央上部付近に浸みが認められる。その他の壁面でも滲出程度の湧水が存在する可能性はある。 当箇所は予備ステージ横坑であり、進行する方向はおおよそN40° Eである。 壁面観察は鏡面から1.4m離れた場所より目視観察で実施した。 |
| | | 変質 | 1(非変質) (一部2(弱変質)を含む) | | | | |
| 岩相 | 中～粗粒花崗岩(灰白色) | 湧水 | 滲出 | 採水試料番号 | なし | | |
| | | 電研式岩級 | -496.97~-500.2m B (A, II, 1~2) -498.4~-500.2m CH (A, III, 1) | | | | |

B工区地質記載シート

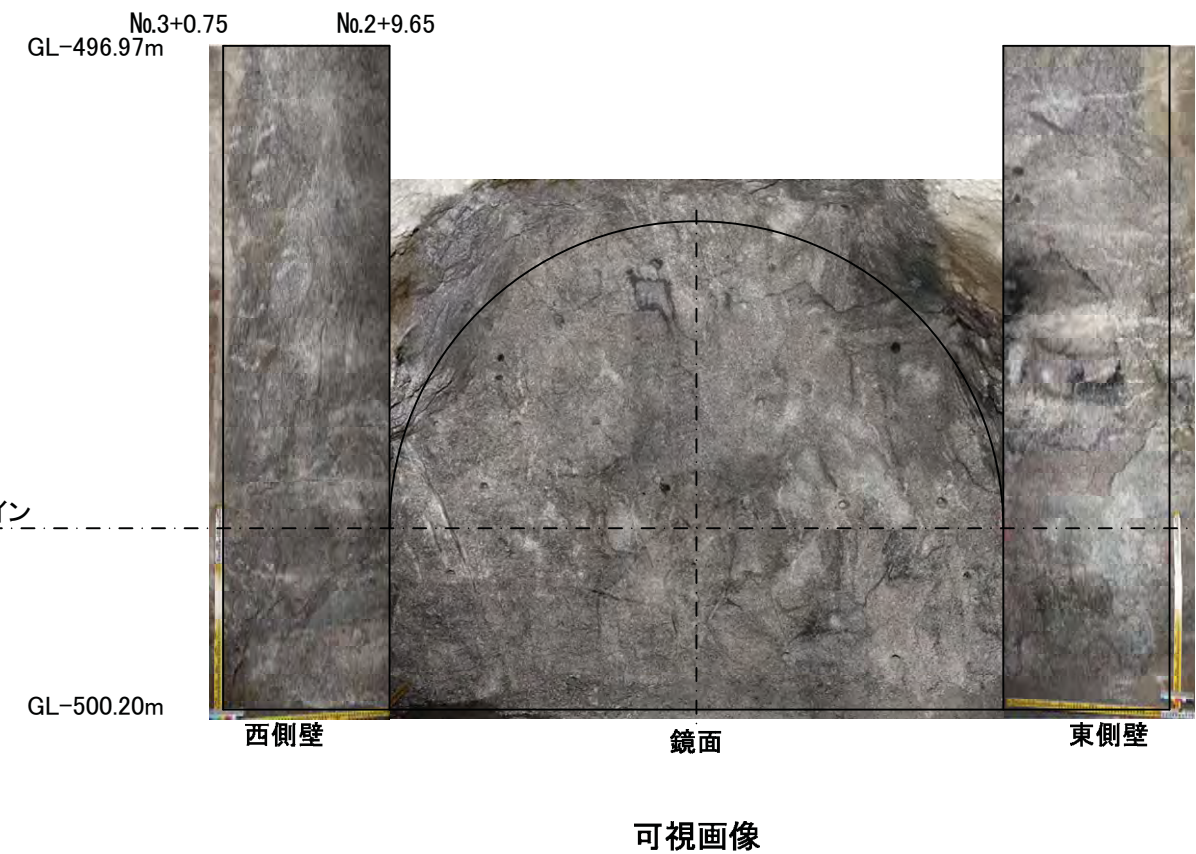
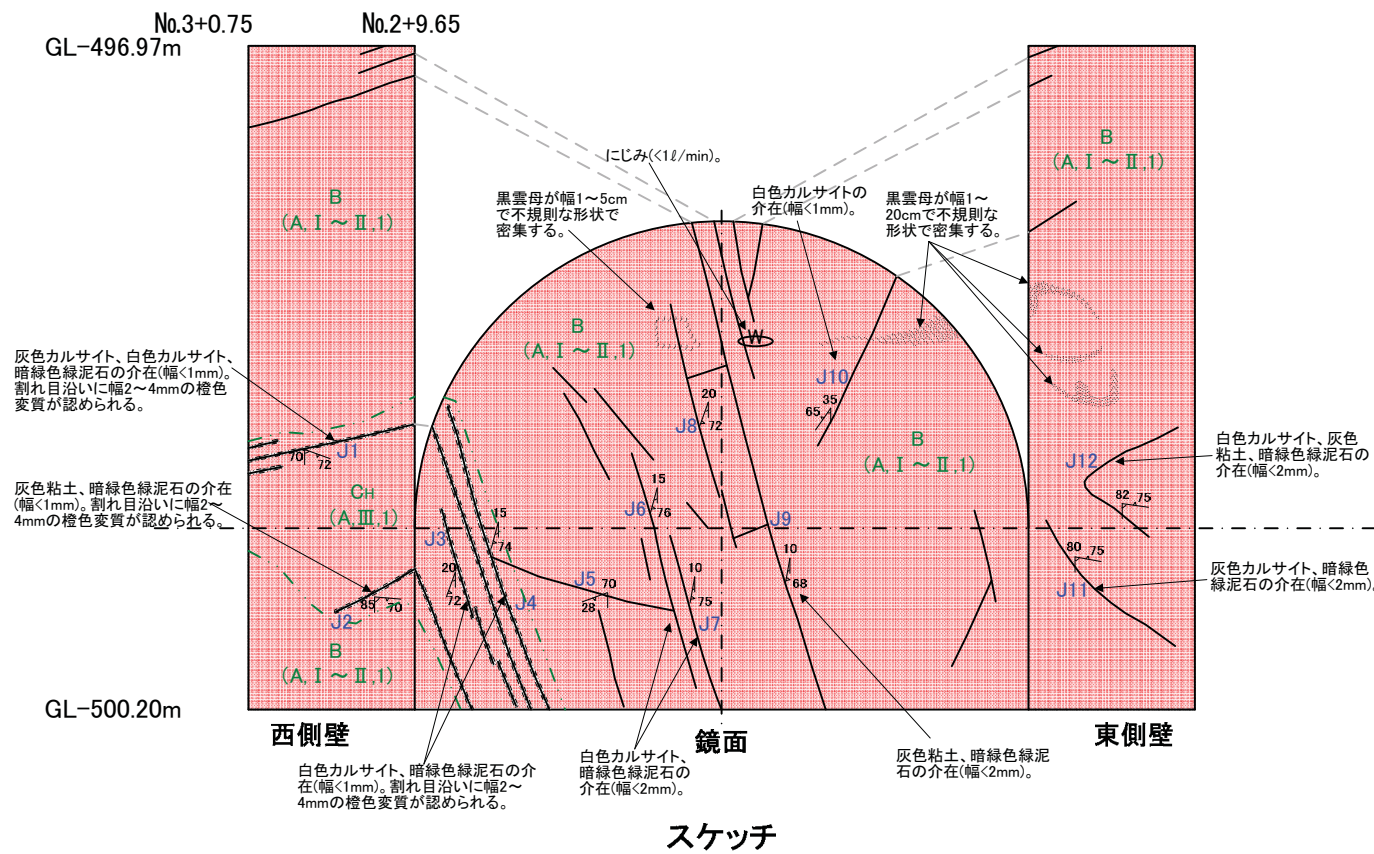
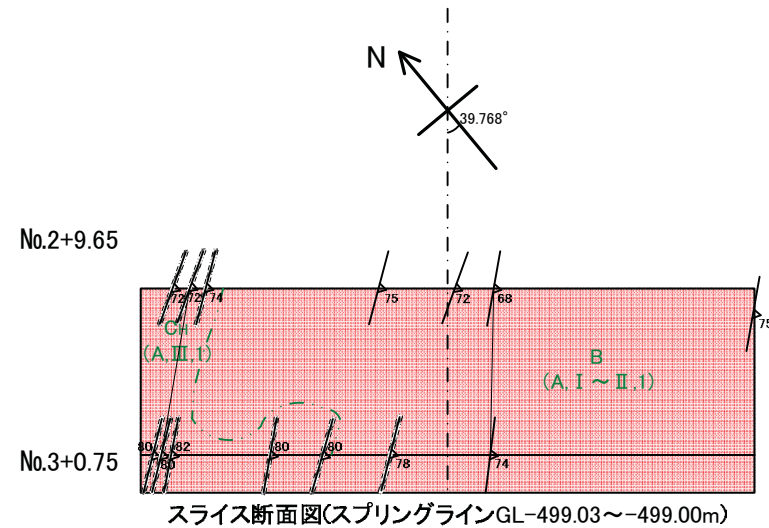
番号:B5-請負-計測工(地質)- 00001

| | | | | | | | |
|-------|-----|----|--------------------------|-------|--|--------|--|
| シート番号 | 258 | 日時 | 2012/5/24 14:00~16:00 | 位置・深度 | 500Y_ST5 G.L.-496.97~-500.20m No.3+0.75~No.2+9.65m | 観察・撮影者 | |
|-------|-----|----|--------------------------|-------|--|--------|--|

- 凡例
- 花崗岩
 - 変質部
 - 岩級区分境界
 - 割れ目
 - 割れ目の傾斜・計測角
 - 湧水
 - 黒雲母密集部

| | | |
|-------|-------|-----|
| 総括監督員 | 主任監督員 | 監督員 |
| | | |

請負人 清水・鹿島・前田特定建設工事共同企業体
現場代理人



| | | | | | | | |
|----|--------------|-------|--|--------|--------------------|------|---|
| 岩種 | 花崗岩 | 風化 | α(新鮮) | RMR値 | -496.97~-500.2m 73 | 特記事項 | <ul style="list-style-type: none"> 中~粗粒花崗岩(灰白色): 等粒状の黒雲母花崗岩。鉱物の粒径は石英が5mm前後でしばしば複数個が1cm程の集合体をなす。長石類は3~20mmである。黒雲母は1~10mmである。有色鉱物の割合は7~10%程度である。切羽の鏡面上部から東側壁にかけて、不規則な形状の黒雲母の密集部分が認められる。 ハンマーでの打撃音は金属音~少し濁った音であり、岩盤は硬硬である。変質は鏡面左下および西側壁の下部の割れ目周辺で認められるが、壁面全体では岩石は概ね新鮮で全体的には割れ目が少なく、岩盤等級はB級である。変質した割れ目が多い鏡面左下および西側壁はCH級である。 主な割れ目として12条を抽出した。高角度割れ目は、NE方向の走向を示すものが多く、暗緑色緑泥石および灰~白色カルサイトが介在する。鏡面左下および西側壁下部の高角度割れ目(J1~J4)周辺は橙色に弱変質している。また、鏡面左上から鏡面中央下部にかけて灰色粘土を介在する高角度割れ目(J9)が認められる。東側壁には、暗緑色緑泥石と灰色粘土を介在する高角度割れ目(J11、J12)が面的に露出する。 湧水は、鏡面に対して中央上部付近に滲みが認められる。その他の壁面でも滲出程度の湧水が存在する可能性あり。 当箇所は予備ステージ横坑であり、進行する方向はおおよそN40°Eである。 壁面観察は鏡面から2m離れた場所より目視観察で実施した。 |
| | | 変質 | 1(非変質) (一部2(弱変質)を含む) | | | | |
| 岩相 | 中~粗粒花崗岩(灰白色) | 湧水 | 滲出 | 採水試料番号 | なし | | |
| | | 電研式岩級 | -496.97~-500.20m B (A,I~II,1) -499.85~-500.20m CH (A,III,1) | | | | |

B工区地質記載シート

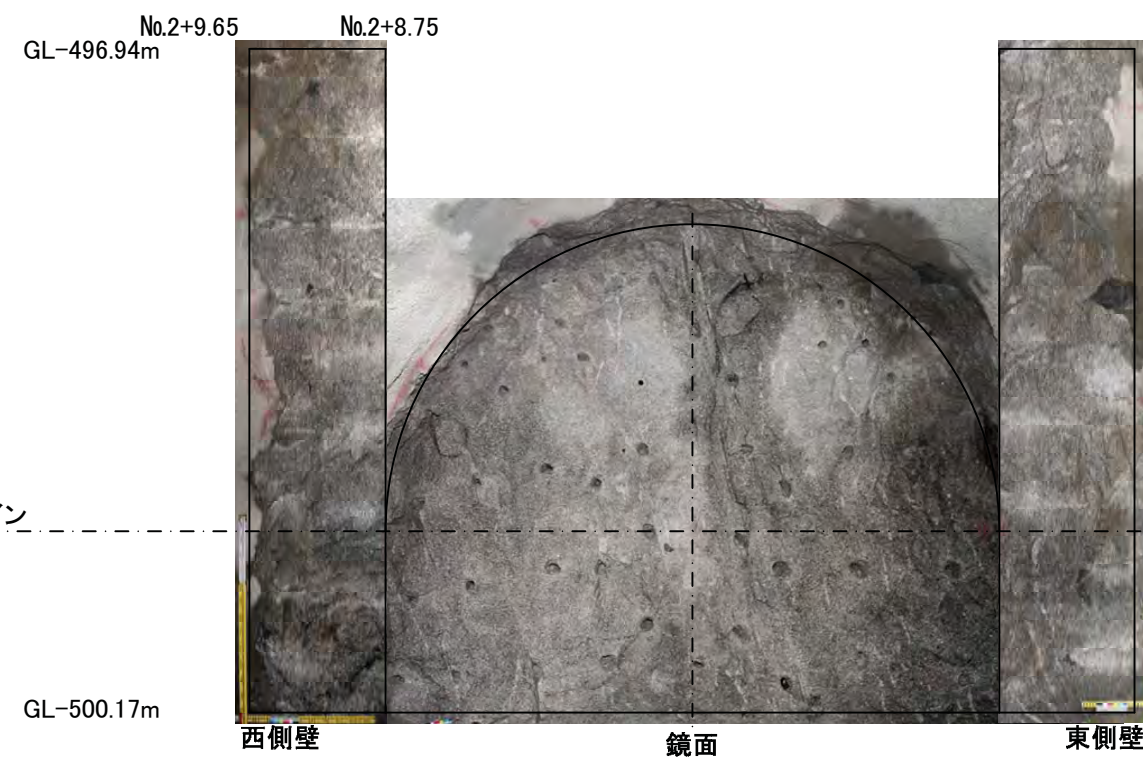
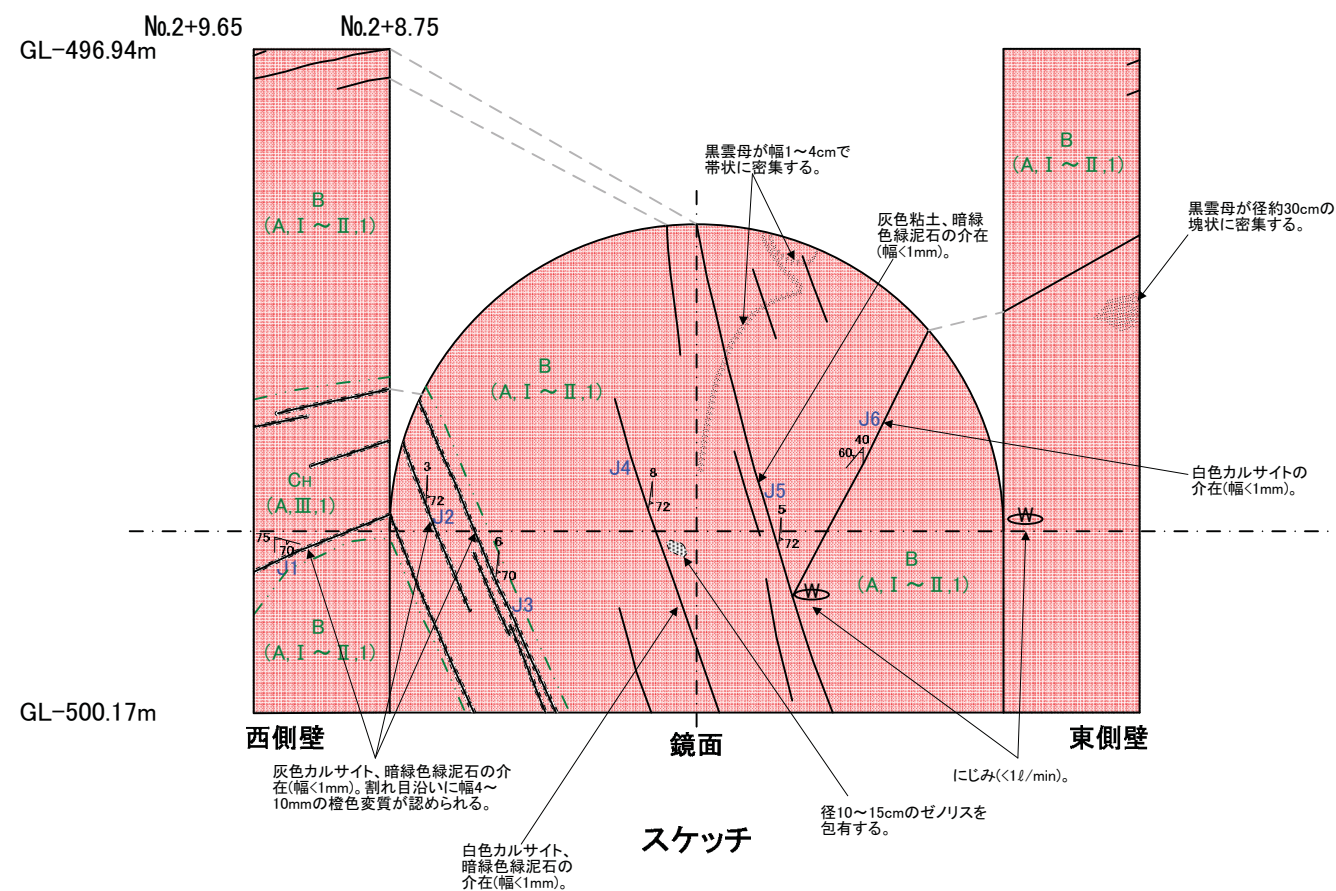
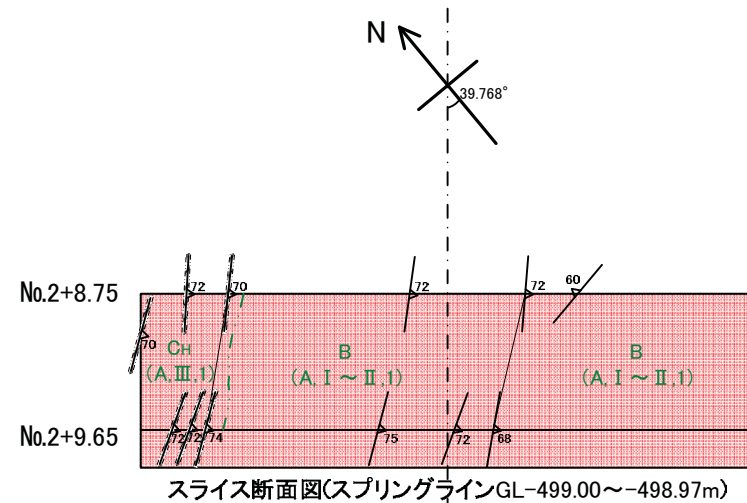
番号:B5-請負-計測工(地質)- 00002

| | | | | | | | |
|-------|-----|----|--------------------------|-------|--|--------|--|
| シート番号 | 259 | 日時 | 2012/5/29 07:30~08:50 | 位置・深度 | 500Y_ST6 G.L.-496.94~-500.17m No.2+9.65~No.2+8.75m | 観察・撮影者 | |
|-------|-----|----|--------------------------|-------|--|--------|--|

- 凡例
- 花崗岩
 - 変質部
 - 岩級区分境界
 - 割れ目
 - 割れ目の傾斜・計測角
 - 湧水
 - 黒雲母密集部
 - ゼノリス

| | | |
|-------|-------|-----|
| 総括監督員 | 主任監督員 | 監督員 |
| | | |

請負人 清水・鹿島・前田特定建設工事共同企業体
現場代理人



| | | | | | |
|----|--------------|-------|--|--------|---------------------|
| 岩種 | 花崗岩 | 風化 | α(新鮮) | RMR値 | -496.94~-500.17m 72 |
| 岩相 | 中~粗粒花崗岩(灰白色) | 変質 | 1(非変質) (一部2(弱変質)を含む) | 岩石試料番号 | なし |
| | | 湧水 | 滲出 | 採水試料番号 | なし |
| | | 電研式岩級 | -496.94~-500.17m B (A.I~II.1) -498.00~-500.17m CH (A.III.1) | | |

特記事項

- 中~粗粒花崗岩(灰白色): 等粒状の黒雲母花崗岩。鉱物の粒径は石英が5mm前後でしばしば複数個が1cm程の集合体をなす。長石類は3~20mmである。黒雲母は1~10mmである。有色鉱物の割合は7~10%程度である。鏡面中央から右上部に幅1~4cmの帯状、東側壁に径約30cmの塊状の黒雲母の密集部が認められる。
- ハンマーでの打撃音は金属音~少し濁った音であり、岩盤は硬である。変質は鏡面左下および西側壁の下部の割れ目周辺で認められるが、壁面全体では岩石は概ね新鮮で全体的には割れ目が少なく、岩盤等級はB級である。変質した割れ目が多い鏡面左下および西側壁はCH級である。
- 主な割れ目として6条を抽出した。高角度割れ目は、NE方向の走向を示すものが多く、暗緑色緑泥石および灰~白色カルサイトが介在する。鏡面左下および西側壁下部の高角度割れ目(J1~J3)周辺は橙色に弱変質している。また、鏡面頂部から鏡面右下にかけて、灰色粘土を介在する高角度割れ目(J5)が認められる。
- 湧水は、J5とJ6の割れ目が交わる鏡面中央部やや右側の下部と東側壁下部の削孔箇所へ滲みが認められる。その他の壁面でも滲出程度の湧水が存在する可能性あり。
- 当箇所は予備ステージ横坑であり、進行する方向はおおよそN40°Eである。
- 壁面観察は鏡面から2m離れた場所より目視観察で実施した。

B工区地質記載シート

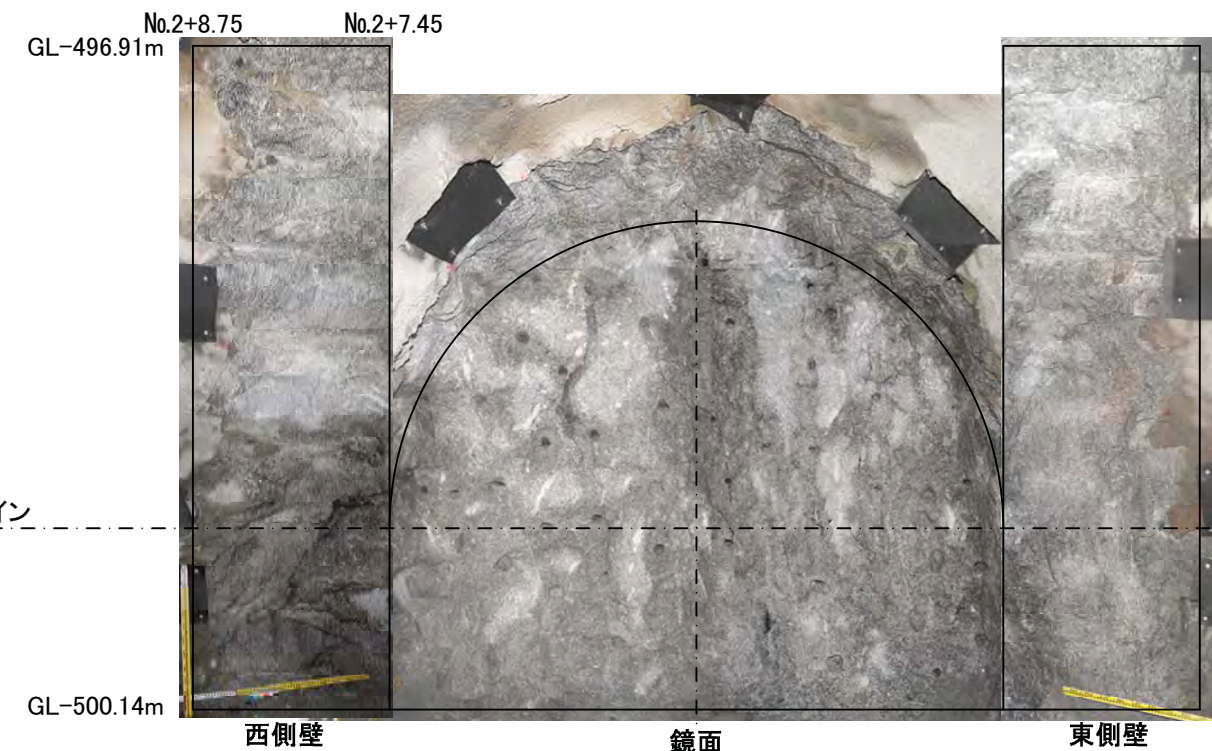
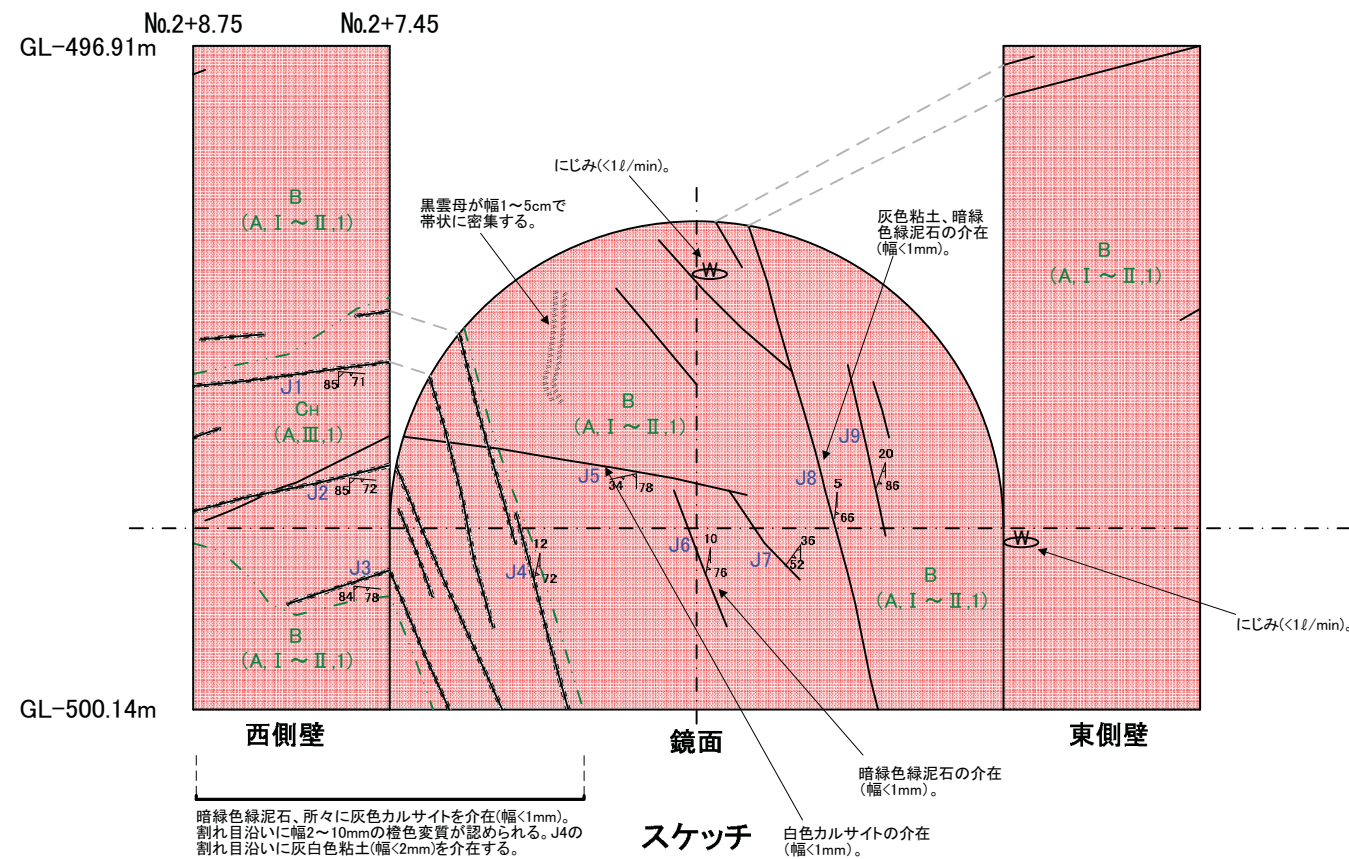
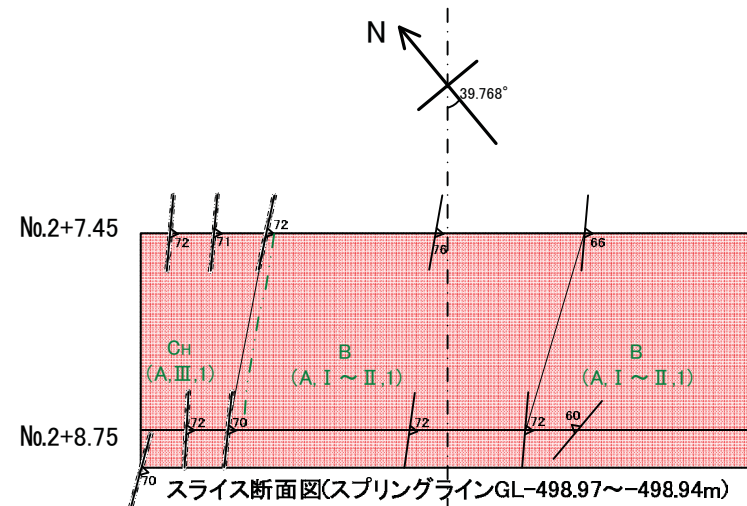
番号: B5-請負-計測工(地質)- 00003

| | | | | | | | |
|-------|-----|----|-------------------------|-------|--|--------|--|
| シート番号 | 260 | 日時 | 2012/6/4 14:30~16:00 | 位置・深度 | 500Y_ST7 G.L.-496.91~-500.14m No.2+8.75~No.2+7.45m | 観察・撮影者 | |
|-------|-----|----|-------------------------|-------|--|--------|--|

- 凡例
- 花崗岩
 - 変質部
 - 岩級区分境界
 - 割れ目
 - 割れ目の傾斜・計測角
 - 湧水
 - 黒雲母密集部

| | | |
|-------|-------|-----|
| 総括監督員 | 主任監督員 | 監督員 |
| | | |

請負人 清水・鹿島・前田特定建設工事共同企業体
現場代理人



| | | | | | | | |
|----|--------------|-------|--|--------|---------------------|------|---|
| 岩種 | 花崗岩 | 風化 | α(新鮮) | RMR値 | -496.91~-500.14m 72 | 特記事項 | <ul style="list-style-type: none"> 中~粗粒花崗岩(灰白色): 等粒状の黒雲母花崗岩。鉱物の粒径は石英が5mm前後でしばしば複数個が1cm程の集合体をなす。長石類は3~20mmである。黒雲母は1~10mmである。有色鉱物の割合は7~10%程度である。鏡面左上部に幅1~5cmの帯状の黒雲母の密集部が認められる。 ハンマーでの打撃音は金属音~少し濁った音であり、岩盤は堅硬である。変質は鏡面左および西側壁の割れ目周辺で認められるが、壁面全体では岩石は概ね新鮮で全体的には割れ目が少なく、岩盤等級はB級である。変質した割れ目が多い鏡面左下および西側壁はCH級である。 主な割れ目として9条を抽出した。高角度割れ目は、NE方向の走向を示すものが多く、暗緑色緑泥石が介在する。鏡面左側および西側壁の高角度割れ目(J1~J4)周辺は橙色に弱変質している。また、鏡面左側に灰白色粘土を介在する割れ目(J4)が、鏡面頂部から鏡面右下にかけて灰色粘土を介在する高角度割れ目(J8)が認められる。 湧水は、鏡面頂部付近および東側壁下部の削孔箇所へ滲みが認められる。その他の壁面でも滲出程度の湧水が存在する可能性はある。 当箇所は予備ステージ横坑であり、進行する方向はおおよそN40°Eである。 壁面観察は鏡面から2m離れた場所より目視観察で実施した。 |
| | | 変質 | 1(非変質) (一部2(弱変質)を含む) | | | | |
| 岩相 | 中~粗粒花崗岩(灰白色) | 湧水 | 滲出 | 採水試料番号 | なし | | |
| | | 電研式岩級 | -496.91~-500.14m B (A.I~II.1) -497.64~-500.14m CH (A.III.1) | | | | |

B工区地質記載シート

番号:B5-請負-計測工(地質)- 00004

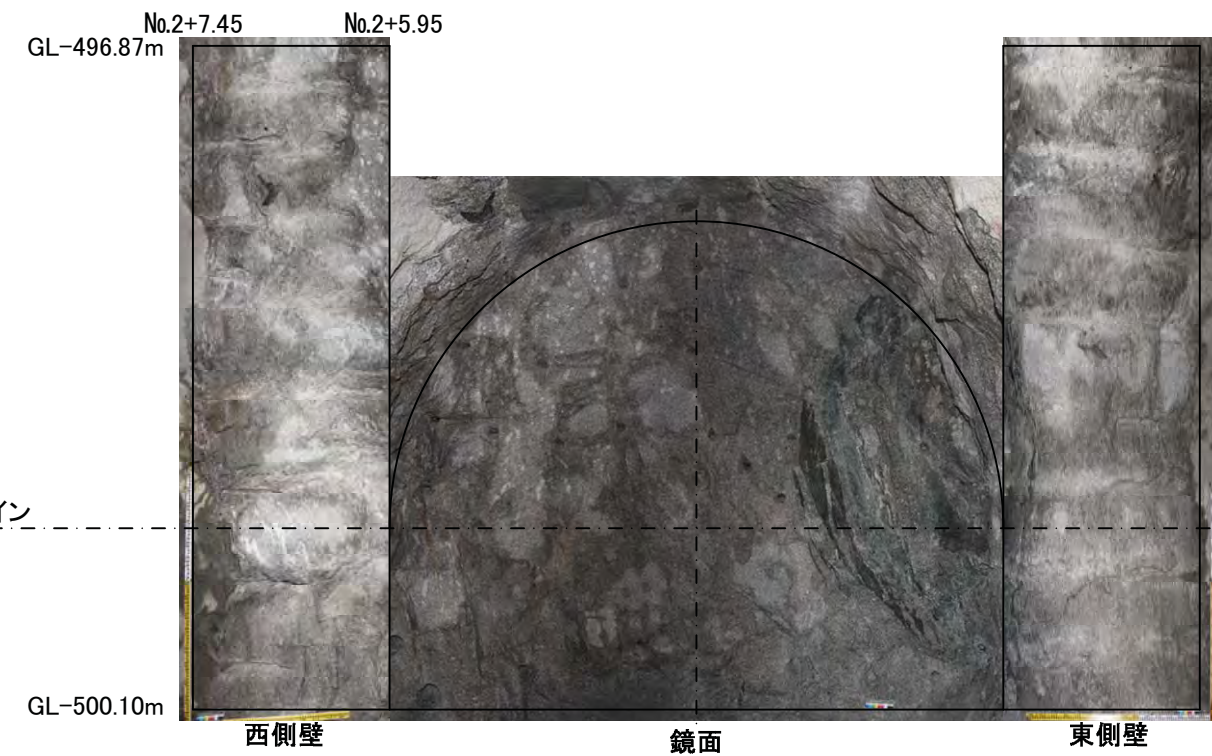
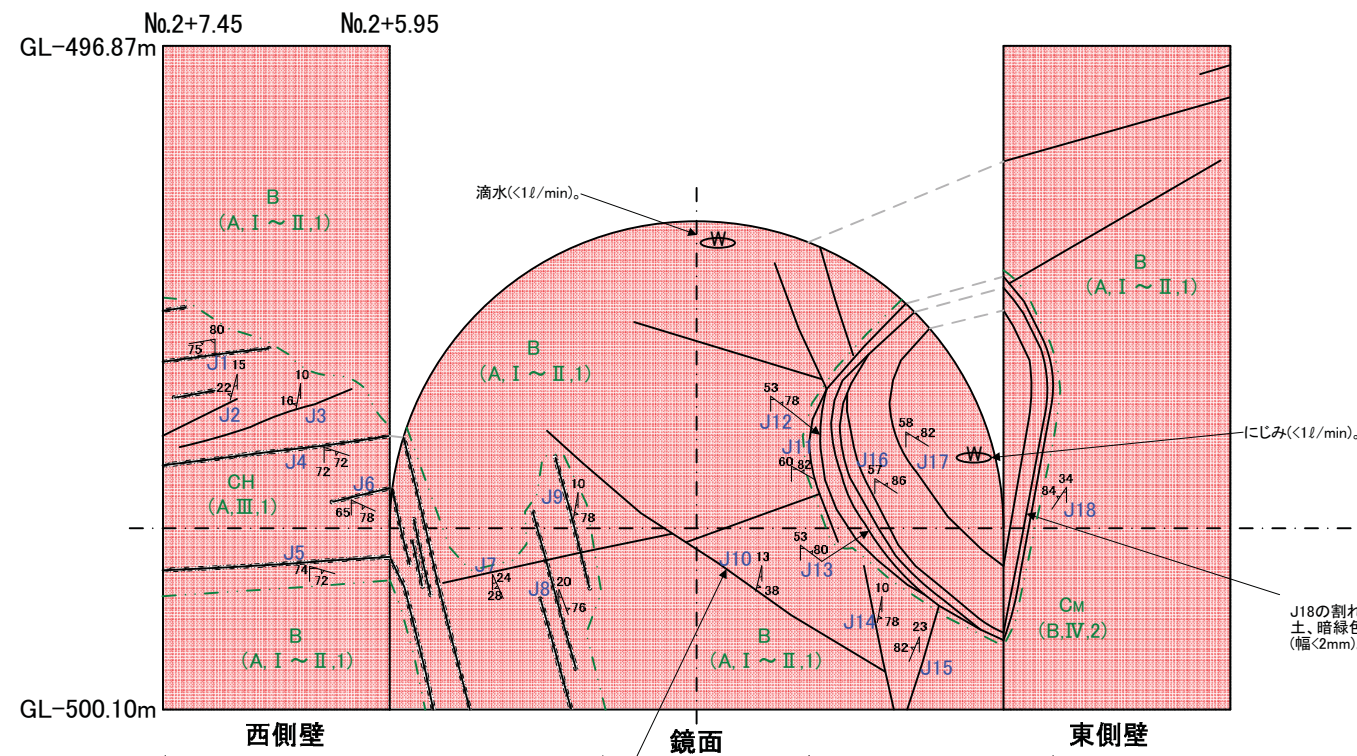
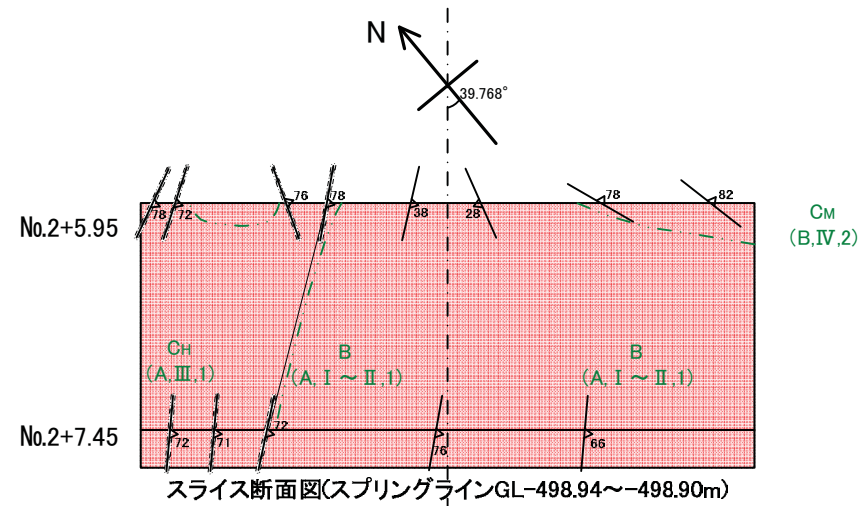
| | | | | | | | |
|-------|-----|----|-------------------------|-------|--|--------|--|
| シート番号 | 261 | 日時 | 2012/6/7 14:30~17:00 | 位置・深度 | 500Y_ST8 G.L.-496.87~-500.10m No.2+7.45~No.2+5.95m | 観察・撮影者 | |
|-------|-----|----|-------------------------|-------|--|--------|--|

凡例

| | | |
|-------|--------------|----------|
| : 花崗岩 | : 変質部 | : 岩級区分境界 |
| : 割れ目 | : 割れ目の傾斜・計測角 | : 湧水 |

| | | |
|-------|-------|-----|
| 総括監督員 | 主任監督員 | 監督員 |
| | | |

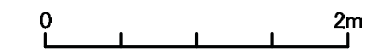
請負人 清水・鹿島・前田特定建設工事共同企業体
現場代理人



暗緑色緑泥石、所々に灰色カルサイトを介在(幅<1mm)。割れ目沿いに幅2~10mmの橙色変質が認められる。

白色カルサイトの介在(幅<1mm)。

J11~J13の割れ目に暗緑色緑泥石を介在する(幅<1mm)。J16およびJ17の割れ目沿いに暗緑色緑泥石および淡緑色カルサイトを介在する(幅<2mm)。



| | | | | | | | |
|----|--------------|-------|--|--------|---------------------|------|--|
| 岩種 | 花崗岩 | 風化 | α(新鮮) | RMR値 | -496.87~-500.10m 64 | 特記事項 | <ul style="list-style-type: none"> 中~粗粒花崗岩(灰白色): 等粒状の黒雲母花崗岩。鉱物の粒径は石英が5mm前後でしばしば複数個が1cm程の集合体をなす。長石類は3~20mmである。黒雲母は1~10mmである。有色鉱物の割合は7~10%程度である。 ハンマーでの打撃音は金属音~少し濁った音であり、岩盤は堅硬であるが、鏡面右側の割れ目密集部では濁った音である。変質は鏡面左および西側壁の割れ目周辺で認められるが、壁面全体では岩石は概ね新鮮で全体的には割れ目密集部の割合が少なく、岩盤等級はB級である。変質した割れ目が多い鏡面左下および西側壁はC₆級、鏡面右側の割れ目密集部はC₆級である。 主な割れ目として18条を抽出した。弱変質した高角度割れ目(J1、J4~J6、J8、J9)は、NE方向の走向を示し、暗緑色緑泥石および所々に灰色カルサイトを介在する。鏡面右側には、NS~NWの走向を示す高角度割れ目(J11~J13、J16~J18)が密集し、暗緑色緑泥石および所々に淡緑色カルサイトを介在する。また、鏡面右側の割れ目密集部には灰色粘土を介在する割れ目(J18)が認められる。 湧水は、鏡面頂部付近と鏡面右側の削孔箇所に滴水~滲みが認められる。その他の壁面でも滲出程度の湧水が存在する可能性はある。 当箇所は予備ステージ横坑であり、進行する方向はおおよそN40°Eである。 壁面観察は鏡面から2m離れた場所より目視観察で実施した。 |
| | | 変質 | 1(非変質) (一部2(弱変質)を含む) | | | | |
| 岩相 | 中~粗粒花崗岩(灰白色) | 湧水 | 滲出 | 採水試料番号 | なし | | |
| | | 電研式岩級 | -496.87~-500.10m B (A.I~II.1) -497.40~-500.10m CH (A.III.1) -497.40~-499.65m CM (B.IV.2) | | | | |

B工区地質記載シート

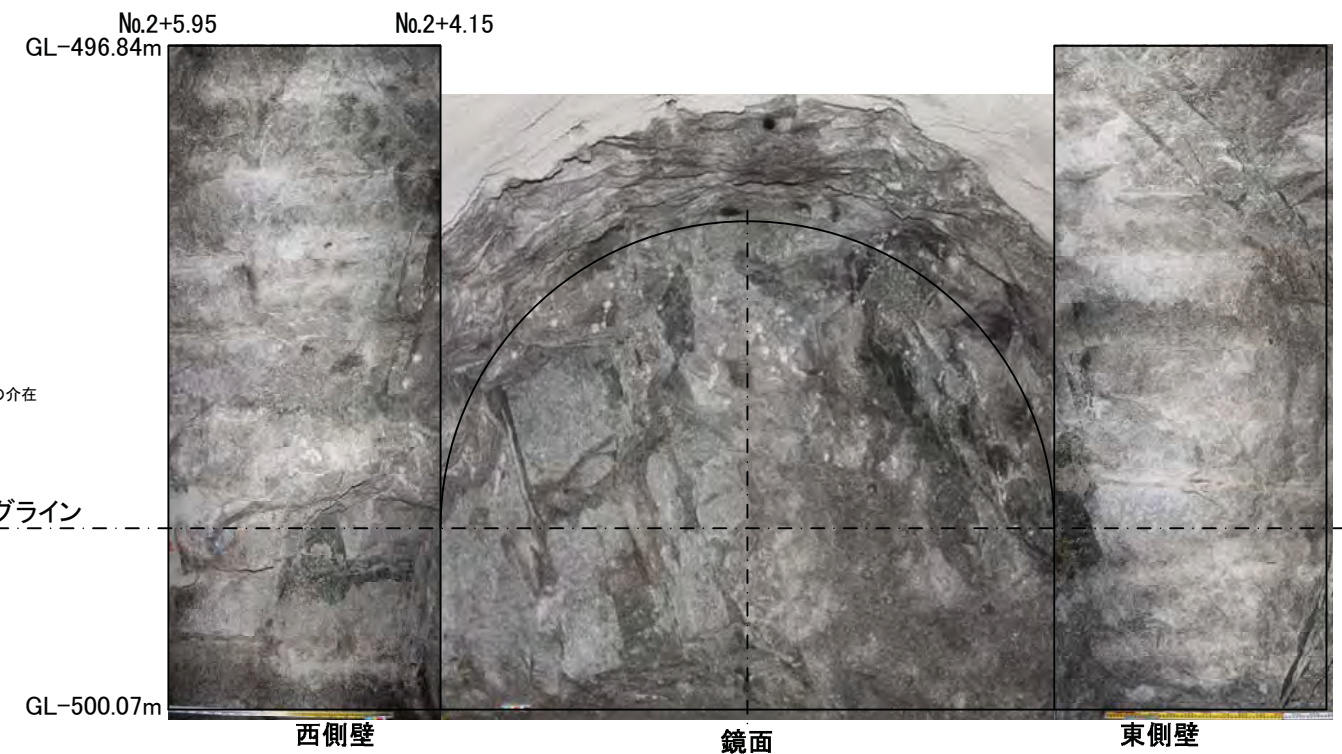
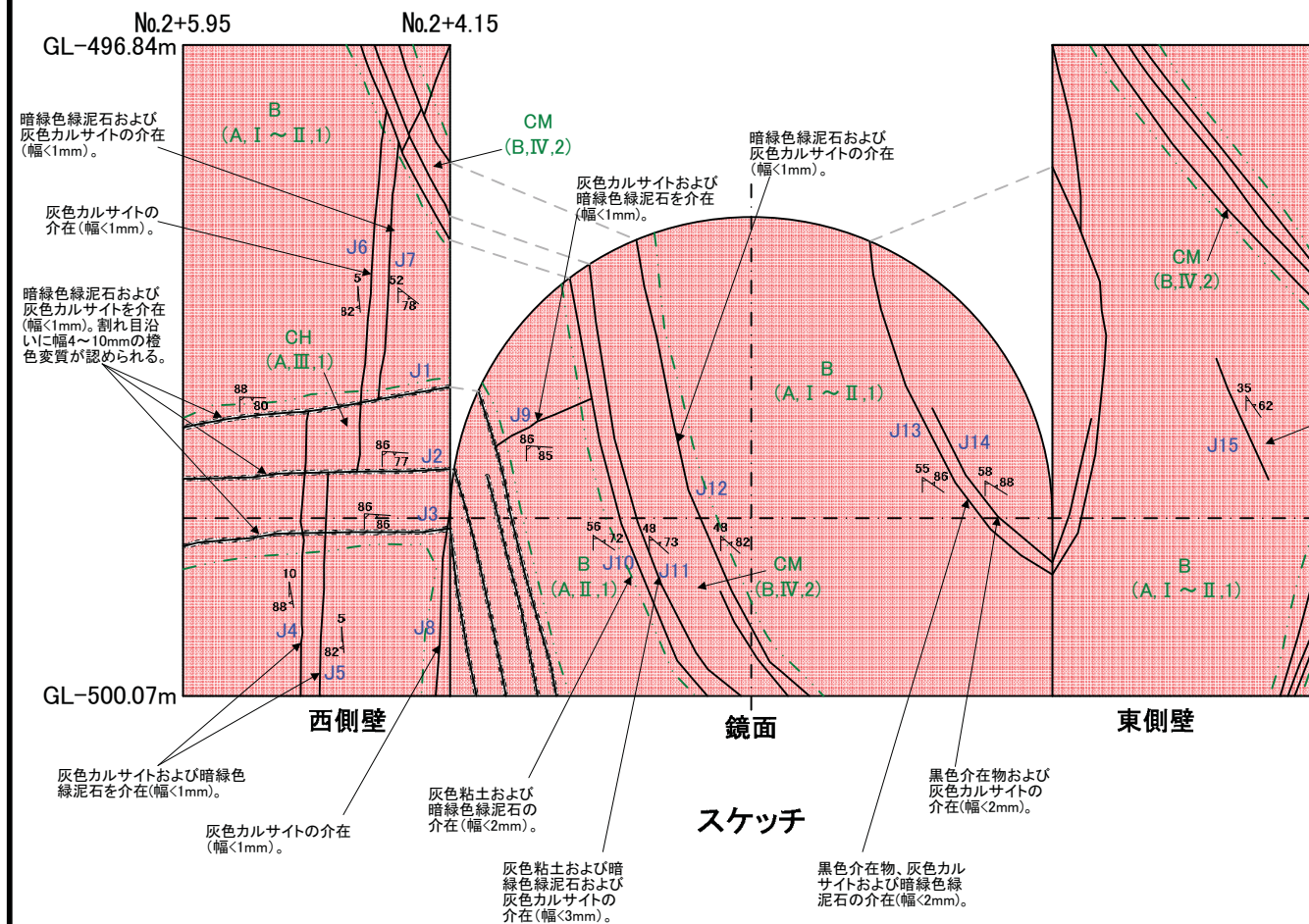
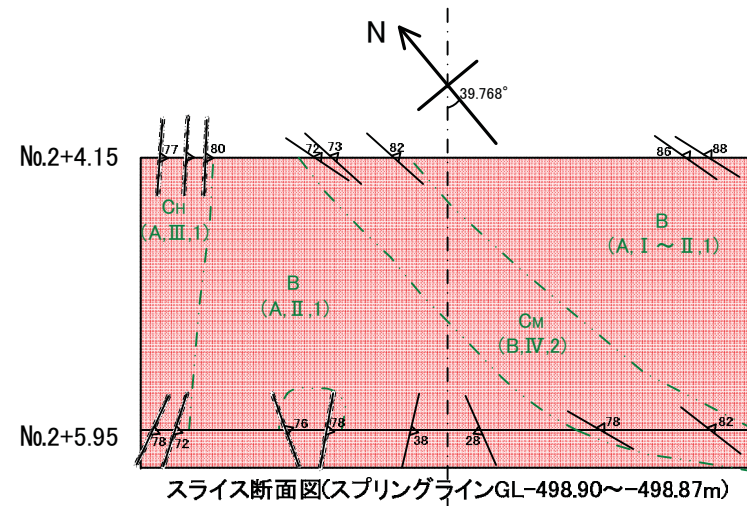
番号:B5-請負-計測工(地質)- 00005

| | | | | | | | |
|-------|-----|----|--------------------------|-------|--|--------|--|
| シート番号 | 262 | 日時 | 2012/6/11 15:00~17:00 | 位置・深度 | 500Y_ST9 G.L.-496.84~-500.07m No.2+5.95~No.2+4.15m | 観察・撮影者 | |
|-------|-----|----|--------------------------|-------|--|--------|--|

- 凡例
- 花崗岩
 - 変質部
 - 岩級区分境界
 - 割れ目
 - 割れ目の傾斜・計測角

| | | |
|-------|-------|-----|
| 総括監督員 | 主任監督員 | 監督員 |
| | | |

請負人 清水・鹿島・前田特定建設工事共同企業体
現場代理人



| | | | | | |
|----|--------------|-------|--|--------|---------------------|
| 岩種 | 花崗岩 | 風化 | α (新鮮) | RMR値 | -496.84~-500.07m 69 |
| | | 変質 | 1(非変質) (一部2(弱変質)を含む) | | |
| 岩相 | 中~粗粒花崗岩(灰白色) | 湧水 | 滲出 | 岩石試料番号 | なし |
| | | 電研式岩級 | -496.84~-500.07m B (A.I~II.1) -499.80~-500.07m CH (A.III.1) -496.84~-500.07m CM (B.IV.2) | 採水試料番号 | なし |

特記事項

- 中~粗粒花崗岩(灰白色)：等粒状の黒雲母花崗岩。鉱物の粒径は石英が5mm前後でしばしば複数個が1cm程の集合体をなす。長石類は3~20mmである。黒雲母は1~10mmである。有色鉱物の割合は7~10%程度である。
- ハンマーでの打撃音は金属音~少し濁った音であり、岩盤は堅硬であるが、鏡面中央下部から鏡面左上部の割れ目の多い部分では濁った音である。変質は鏡面左および西側壁の割れ目周辺で認められるが、壁面全体では岩石は概ね新鮮で全体的には岩盤等級はB級を主体とする。変質した割れ目が多い鏡面左下および西側壁下部はC₀級、鏡面中央下部~鏡面左上部~東側壁上部にかけての割れ目多い部分はC₀級である。
- 主な割れ目として15条を抽出した。変質した高角度割れ目 (J1~J3) は、NE方向の走向を示し、暗緑色緑泥石および灰色カルサイトを介在する。鏡面中央下部から鏡面左上部にかけてはNNW走向を示す高角度割れ目 (J10~J12) が多く、灰色粘土、暗緑色緑泥石または灰色カルサイトを介在する。また、鏡面右側の割れ目 (J13、J14) には黒色介在物が認められる。
- 湧水は、顕著なものは認められず、部分的にやや湿った状態である。
- 当箇所は予備ステージ横坑であり、進行する方向はおおよそN40°Eである。
- 壁面観察は鏡面から2m離れた場所より目視観察で実施した。

